

有機「下里モデル」を「八和田」へも

環境保全型農業への理解が広がりつつある

質問 昨年、天皇杯を受賞した有機「下里モデル」を「八和田地区」にも広げるようになりますか。

答弁

産業観光課長

小川町有機農業推進協議会等の取り組みにより、八和田地区においても、徐々に環境保全型農業に関する理解が広がりつつあります。さらに有機農業を核とし、再生可能価格で地場産業や企業が購入していただけるシステムが確立されれば、農業生産意欲も向上し、農業振興上、望ましいと感じています。



天皇杯受賞の下里集落（読売新聞社提供）

「新エネルギー導入プラン」のその後の状況は

質問 東日本大震災以降、原発にかわる代替エネルギーの模索が続く中、町では平成15年に「小川町地域エネルギー・ギービジョン」を策定しているが、現在の進捗状況は。

答弁

環境保全課長

「菜の花プラン」は県から菜種の提供もあり、菜種油の販売を平成18年から3年間続けられました。しかし、太陽光発電の設置については、一般住宅対象の補助金交付制度があり、町でもこの取り組みが必要と考えています。いずれにせよ新エネルギー・プランが進んでいない理由は、財政事情にあると思われます。



金子美登 議員

ブックスタート事業の実施は

質問 全国に広がっていいるブックスタート事業の実施は。赤ちゃんに本をプレゼントし、母親が読み聞かせをする。今、親子の触れ合

答弁 町長ほか町は、4ヵ月健診時に職員が絵本の読み聞かせをしています。本は親が買ってください。



高齢者の支援

質問 高齢者の支援を。（①要介護認定を受けない人の交通手段は②肺炎による死亡率が高い。肺炎球菌ワクチン接種の助成を。

答弁 政策推進課長①現在分析中の住民移動実態調査の結果を待ってください。基本は家族等の送迎、公共交通の利用です。②近隣自治体の動向を見て、関係課と協議し検討していく

女性のがん予防

大腸がん検診の受診率向上を

あらゆる方策で周知啓発していく

高橋さゆり 議員

すたむちゃんのひと口メモ

H P V 検査とは…子宮頸がんを引き起こすウイルスそのものに感染しているか、また、感染してもきちんと排除されているか判定する検査。

質問 女性のがん予防は。①乳がん検診の第一歩である自宅ができる「自己触診補助用具」の助成はできないか②子宮頸がん検診にH P V 検査の助成を加えることは③大腸がんは今、女性の死因で第一位になります。検診率向上の対策は。

答弁 健康増進課長①乳がんの「自己触診補助用具」助成は考えていません②H P V 検査の検査は考えていません③あらゆる方策を考え周知啓発していく